

自分自身と大切な人を守るため

問 新型コロナウイルスコンコールセンター
0570(020)707(ナビダイヤル)

新型コロナウイルスワクチン接種を ご検討ください

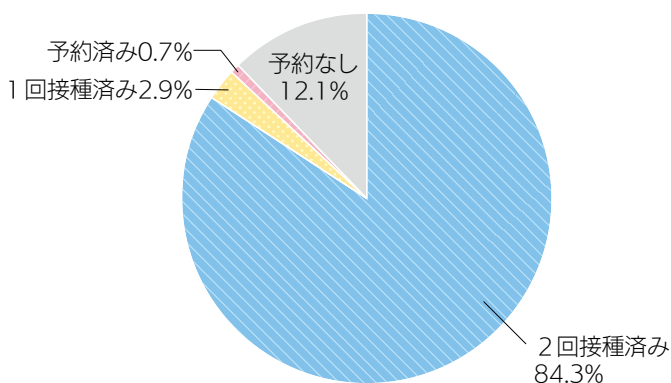
高齢者の約84%が2回目接種完了

本市では、5月18日に集団接種が始まりました。年齢の高い人から段階的に接種を実施し、8月31日からは、希望するすべての人が予約できるようになりました。(接種対象は接種日時点で12歳以上の人)

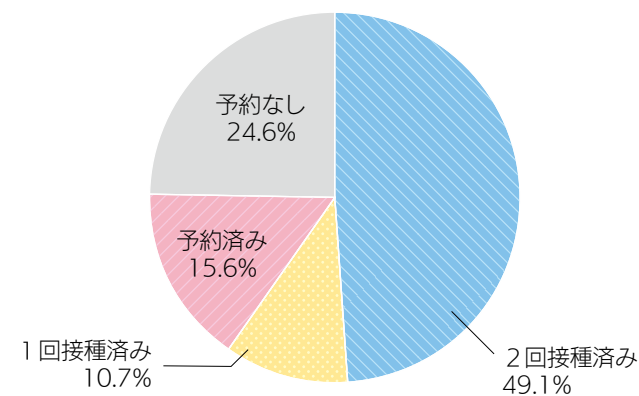
9月7日時点の高齢者の接種状況は、円グラフのとおり、2回目接種済みの人が84.3%で、多くの人が接種を受けています。

全体の接種状況は、2回目接種済みの人が49.1%、1回目接種済みの人が10.7%です。また、1回も接種していない人のうち、今後受ける予定のある人(予約済みの人)は15.6%です。

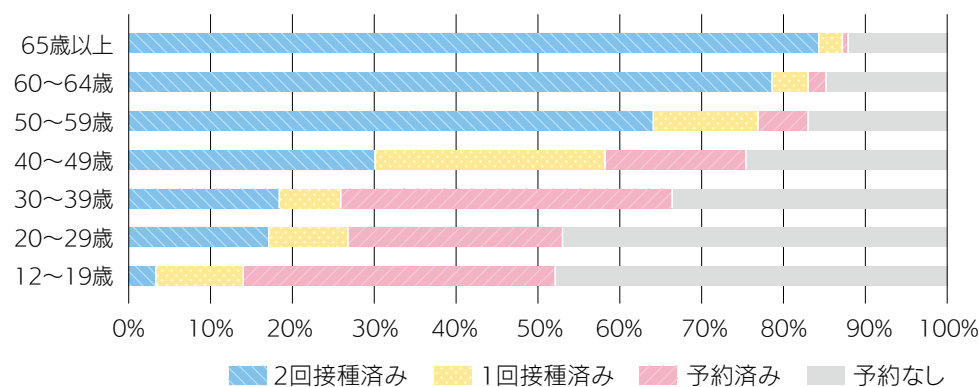
●65歳以上の接種状況



●全体の接種状況



9月7日時点の情報です



9月7日時点の情報です

年代別の接種状況

左のグラフは、年代別の接種状況をまとめたグラフです。年齢の高い人から接種が進んでおり、今後、若い世代の人への接種を進めていきます。

特に若い世代の人へ ワクチンを正しく理解して 判断を

どんなワクチンにも副反応があり、
ワクチン接種を受けるときは、副反応
が気になることは当然です。

ここで重要なことは、ワクチンのメ
リットとリスクを正しく理解した上
で、接種を受けるかどうか判断するこ
とです。

自分自身と大切な人を 感染から守る

新型コロナウイルスは、感染して
も発熱やせきなどの症状が出ること
を抑える「発症予防の効果」や、症状
が出て重症にならないようにする
「重症化予防の効果」があることが海
外では明らかになっていきます。発症
予防の効果は約70～95%で、非常に
高い効果が報告されています。なお、
インフルエンザワクチンの有効性は
約40～60%と言われています。

また、発症や重症化を防ぐ効果だ
けでなく、感染そのものを防ぐ「感染
予防の効果」があることも分かって
きました。これは、周りの人に感染を

広げる可能性が低くなるということ
です。ワクチン接種は、自分自身と周
りの大切な人を守ることにつながり
ます。



●ワクチン接種と感染状況

年代	対象者数	1回目 接種率	2回目 接種率	8月新規 感染者数
60歳以上	34,790人	86.5%	83.2%	27人
59歳以下	59,503人	44.4%	29.2%	387人

8月の新規感染者数は60歳以上が27人、59歳以下が387人です。ワクチン接種率が高い60歳以上の人は、新規感染者が非常に少ない結果となっています。

副反応の大部分は、 数日以内に回復

主な副反応は、接種した部分
の痛み、頭痛、筋肉や関節の痛
み、発熱などがありますが、こ
うした症状の大部分は、接種後、数
日以内に回復しています。

また、まれな頻度で、アナフィ
ラキシー（急性のアレルギー反
応）が発生したことが報告され
ています。もし、アナフィラキ
シーが起きたときには、接種会
場ですぐに救急処置を行うこと
になります。

その情報 ほんとう？ うそ？

SNSやメディアでは、新型コロナ
ワクチンに関してさまざまな情報
があふれています。特にSNSの場
合は、誰もが容易に情報発信をでき
ることから正しくない情報も多くあ
ります。

例えば、ワクチンを受けた後に起
きた好ましくない出来事を、因果関
係が分からないにもかかわらず、あ
たかもワクチンが原因であるような
書き方をしている情報もあります。

ワクチン接種に関しては、複数の
専門家のチェックを受け、科学的根
拠に基づいた公的機関からの情報を
できるだけ確認しましょう。

ワクチン接種はご自身の意思に基
づき受けるものです。ぜひ、正しい情
報を得て接種の判断をしましょう。



厚生労働省「新型コロナ
ワクチンQ&A」



市新型コロナワクチン
予約専用サイト